



ごみの行方を知る

エコあくもとで環境学習会

南関中学校(樹本龍次校長)は7月11日、総合的な学習の時間にエコあくもと(下坂下)で環境学習会を開催しました。

これは、環境に関して学び考え、関心を持ってもらうことを目的として開催。この日は同校3年生62人が参加し、施設紹介のDVDを鑑賞後、環境に関するクイズや施設職員による循環型社会について説明が行われました。生徒たちは、必要なものを必要な分だけ買い、物を大切に実践することの大切さを学びました。その後、施設の見学を行い、生徒たちは初めて見る大きな処分場や機械に驚いていました。

濱口麗弥さん(久重)は「普段目にしない機械や施設の精密さに驚いた。今日学んだことを今後の生活に生かしていきたい」と語りました。



機械の説明を真剣に聞く生徒たち



▶ 表敬訪問したおはなしの会「あすなる」の皆さん

絵本で世界を伝える

おはなしの会「あすなる」

4月23日に平成30年度子どもの読書活動優秀実践校・優秀実践団体(個人)で表彰を受けたおはなしの会「あすなる」(美川美智子代表)が7月10日、佐藤町長を訪問し受賞の報告をしました。

おはなしの会「あすなる」は、結成から24年目で現在会員6人で活動中。町内保育園や小学校の読み聞かせ、月一回の定例おはなし会や町立図書館でのイベント、防災行政無線で朗読の放送を行っています。今回は子どもが積極的に読書を行い、意欲を高めるような特色ある優れた読書活動が認められ受賞となりました。

同会員は「まわりのたくさんの人の支えがあって受賞となった」と感謝の想いを語りました。

九州電力から感電事故防止のお願い

毎日の安全チェックポイント

●日頃プラグを抜かない電気製品はトラッキング現象に要注意

冷蔵庫や洗濯機などのプラグをコンセントに長期間差し込んだままにいませんか。プラグとコンセントの間に溜まったホコリに湿気が加わることで発火し、火災につながる場合があります(トラッキング現象)。プラグを時々抜いて、コンセントの点検、清掃をして安全に使いましょう。

●発火につながる危険なタコ足配線

コードや配線器具には、一度に流すことのできる電流の量が決められています(定格容量)。テーブルタップなどにたくさんのプラグを差してタコ足配線をする、定格容量を超えて発火する危険があります。電気製品は、コンセントから直接使うようにしましょう。

●濡れた手で電気製品に触ると危険

水は電気を通しやすい物質です。手や足が濡れた状態で電気製品などに触ると、100ボルト(一般の家庭用コンセントの電圧)でも感電死することがあり危険です。電気製品や電気配線に触るときは、手足をよく拭くようにしましょう。

●素人の電気工事は危険です

家庭や商店などの電気工事は、電気工事士の資格を持った人でなければ行ってはいけません。素人が工事を行うと、感電や電気火災の原因にもなり非常に危険です。電気工事は、電気工事店に依頼してください。

●“うっかり”が危険スイッチの切り忘れ

アイロンやドライヤーなどの熱を発する電気製品を使用しているときに、来客や電話でついその場を離れてしまうことはありませんか。スイッチの切り忘れは事故のもと。その場を離れるときは必ずスイッチを切り、プラグを抜く習慣をつけましょう。

●九州電気保安協会を名乗る勧誘行為にご注意ください

九州電気保安協会や類似した会社名を名乗り、電気料金が安くなる、明細書を見せてほしいなどの電話勧誘行為が発生しています。当協会ではそのような勧誘行為は、一切行っておりません。不審なセールス電話などには十分ご注意ください。

問九州電力(株)玉名営業所 ☎0120-986-601



▲ソフトテニス



▲卓球

練習の成果を発揮

第73回玉名郡民体育祭

7月8日、玉名郡市内各会場で第73回玉名郡民体育祭(水泳・球技・格技)が行われ、町を代表する選手が出場しました。また、雨のため延期となった種目は7月15日に行われました。

ソフトテニス、グラウンドゴルフ男子、卓球、弓道、水泳競技の5種目で団体優勝。選手たちは日ごろの練習の成果を十分に発揮し優秀な成績をおさめました。

今年度の熊本県民体育祭は9月に特別大会として県内一円で開催される予定です。皆さんの応援をよろしくお願いします。



▲グラウンドゴルフ

年に一度、夏のおはなし

町立図書館で七夕おはなし会

7月8日に町立図書館で七夕おはなし会を行いました。おはなしの会「あすなる」と、からたち朗読の会の皆さんによる絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びを行いました。七夕に関するお話や紙しばいなども行われ、子どもたちは夜空に輝く天の川を思い浮かべ物語に引き込まれていました。

会の終盤にはトッパ丸が登場し、子どもたちはトッパ丸から出される七夕クイズで大盛り上がり。会場はにぎやかな雰囲気になっていました。



▶ 手を挙げクイズに答える子どもたち



▶ 短冊の中昔遊びを楽しむ来場者たち

短冊に願いを込めて

御茶屋跡で七夕まつり

南関宿場町伝楽人(宮尾洋一会長)は7月9日、南関御茶屋跡で「七夕まつり」を開催しました。

当日は町内4小学校の代表による童話発表、「座・まりあ」による人形劇などが行われ、童話発表では児童たちが物語が思い浮かぶように感情込めて発表していました。

また、昔懐かしい遊びの体験もあり、子どもたちは伝楽人に教わりながら、風船やお手玉、シャボン玉遊びなどを楽しみました。

縁側には笹竹が飾られ、来場者や町内の保育園児などがそれぞれの願いごとを書いた短冊が飾り付けられていました。